



相生だより

2月号 令和4年1月31日

大田区立相生小学校

校長 山口 勝己

年度末に向けて

副校長 山崎 禎久

38日一。2月1日から起算して、3月25日までの登校日数です。6年生は、卒業式まであと37日となりました。

保護者の皆様だけでなく、子どもたちにとって「もうそれしかない。」「まだまだある。」「やっと終わりに近づいた。」など、捉え方が違うかと思えます(私事で恐縮ですが、昨年4月に着任して以来、私はあっという間だったと思っています)。いずれにしても、すべての子どもたちが、悔いのない日々を過ごし、やり切った思いで年度末を迎えてほしいと思います。

学校では、年度末のまとめをするとともに、来年度の準備を進めています。昨年末に御回答いただいた保護者アンケートのほかにも、学校の内外で各種のアンケート・調査等を行いました。その集計・分析結果から今年度の成果と課題を見出したり、来年度に向けた改善策を検討したりすることを続けています(保護者の皆様から御回答いただいたアンケートについては、集計結果等を後日お知らせします)。

先ほどの登校日数と同様、数字のとらえ方は様々です。しかし本校では、調査結果の数字だけで判断するのではなく、保護者の皆様及び子どもたちの言葉と関連付けて分析を行ったり、少数意見や否定的な回答についても内容を確認し、改善策を検討したりするようにしています。例えば、以下のようなことです。

【エールウィークの取組について】

〈3学期実施時の子どもたちの反応〉

- ・「先生にいいところを言われて泣きそうになった」と非常に喜び、自信を深めていた
- ・「確かに〇〇さんは～だね。」と友達同士で認め合えるようになった。

〈エールウィークに対する保護者の反応〉

- ・保護者アンケートでの質問「…エールウィーク等の取組により、児童は自尊感情や自己肯定感を高めようとしている。」に対する肯定的な回答の割合の合計は、57.9%、「分からない」と回答した回答の割合は30.8%

【分析・改善策】子どものより良い気付きには効果があるが、学校からの情報発信に、改善が必要→来年度、学校便りやICT、校内掲示等を活用して発信していく。

3学期に入り、3年生社会科の授業をさせていただいています。日々、子どもたちとともに学んでいますが、授業後はアンケートを実施して成果と課題を見出し、自分の改善につなげるとともに、校内の教員にも「数字と子どもたちの言葉から見えてくるもの」を伝え、授業改善のヒントとするように伝えていこうと考えています。

◎気持ちのよいあいさつをしよう

- ・元気よくあいさつ、返事をしよう
- ・返事をきちんとしよう
- ・ことばづかいに気をつけよう

